

教養文化研究所所員 2005年度業績

青山 洋子

【学術論文】

「保護者との関係に悩む教師—よりよく付き合うために」(2005年10月、『児童心理』2005年10月号臨時増刊)

【社会活動】

埼玉県立総合教育センター研究協力委員(研究主題:ソーシャル・スキル・トレーニング(SST)に関する指導プログラムの開発)

【現在の研究テーマ】

子どもの社会性・攻撃性に関する研究—ソーシャル・スキルトレーニングを学校でいかにいかすか—, カウンセリング技法の教授法

青山 征彦

【著 書】

辰野千寿(編)『最新 学習指導用語事典』(2005年8月, 教育出版)項目執筆(メディアリテラシー)

【社会活動】

「実験計画と統計の基礎:人を対象とする研究を始める前に」(2005年9月, ヒューマンインタフェースシンポジウム2005における講習会, 於慶應義塾大学湘南キャンパス)

「教育研修プログラムのつくりこみ方 入門編」(2006年2月, HRDM主催「経営機能としてのHRD—戦略と機能—」におけるセミナー, 久保田亨氏と連名, 於鉄鋼会館)

【現在の研究テーマ】

コミュニティの中での学びや熟達, メディアの使用について

明石 真和

【著 書】

楽しいドイツ語トレーニング (2006年2月, 三修社, 共著)

著者: 太田隆士, 明石真和, 櫻井千絵

【社会活動】

東京都葛飾区金町中学校にて, 「2006年サッカーワールドカップ・ドイツ大会」をテーマに講演 (2006年11月25日)

【その他】

国立情報学研究所 (高野研究室) 新書マップ, ウェブマガジン「風」に「ドイツとドイツサッカー」に関し連載中 (2004年7月より毎月～現在に至る)

NHKテレビドイツ語会話テキストに「2006年へのキック・オフドイツ・サッカーを巡る旅」連載中 (2005年4月号より毎月～現在に至る)

【現在の研究テーマ】

ドイツ語学文学, ドイツ語教育法, ドイツ文化

秋池 宏美

【現在の研究テーマ】

- ① ジェンダーと教育に関する人権論的・制度論的研究
- ② 男女共同参画行政に関する研究

秋山 洋子

【翻訳】

胡澎「私と日本近代女性史研究」(2006年1月, 『中国女性史研究』第15号, pp. 54-61)

【書評】

ドロシー・コウ著, 小野和子・小野啓子訳『纏足の靴——小さな足の文化史』平凡社, (『週刊読書人』2006年1月20日号)

【社会活動】

講演「日本の女性学と女性運動」(2005年11月27日, 於天津大学ジェンダー研究センター/2006年3月13日, 於雲南民族大学女性学研究中心)

「東アジア文化研究ワークショップ」講師 (自分と中国研究についてのスピーチ, 英訳論文をめぐって参加者との討論), (2006年2月10日, 於シカゴ大学)

「文化を超えた女性／ジェンダー研究〈座談会〉——研究を省み、経験を分かちあう」企画，準備，開会の辞および司会を担当（2005年9月7-8日，大連大学ジェンダー研究センター・中国女性史研究会共催，於大連大学）

「近20年華人社会のジェンダー研究：回顧と展望」シンポジウム，ポスターセッションに「中国女性学における思想形成」提出（2005年11月16-18日，於香港中文大学）

映画「30年のシスターフッド」上映・パネルディスカッション米国ツアーに参加（2006年2月10日シカゴ大学，11日アイオワ大学，12日グリネル大学，15日イェール大学，16日ニューヨークLGBTセンター，19日同 Bluestockings Bookstore，21日ミシガン大学）

【その他】

「中国の『平穏な』暮らしの中で」（2005年8月，『季刊ピープルズ・プラン』31号，pp. 45-50）

「05年山西省スタディーツアー報告：土地と人に触れた旅」（2005年9月，『出口気』No.37，p. 16）

「学会参加記・第13回バークシャー女性史会議」（2005年10月，『ジェンダー史学』創刊号，pp. 150-151）

「文化を超えた女性／ジェンダー研究〈座談会〉——研究を省み、経験を分かちあう（報告）」（2006年1月，『中国女性史研究』第15号，pp. 43-45）

【現在の研究テーマ】

中国の女性学と女性文学，コロンタイの女性解放論の日本と中国への影響
備考：2005年度は中国・大連大学ジェンダー研究センターにおいて在外研究に従事した。

天野 武男

【学術論文】

A Tour of the Seven Churches of the Revelation in the Footsteps of Paul in Turkey
（2005年12月，『英米文学語学研究会論集』第11号，pp. 141-153.）

パウロの小アジア伝道旅行——ヨハネの黙示録に表された七つの教会を中心として——
（2006年1月，『駿河台大学論叢』第31号，pp. 1-15.）

【社会活動】

聖日説教「あなたは、わたしを愛しますか：ヨハネ 21：15-17」（2005年8月，関

東プレインズバプテスト教会)

チャペルサービス「神の力：1コリント 1：18-25」(2005年10月，東京バプテスト神学校)

チャペルサービス「復活の喜びと希望：1コリント 15：1-11」(2006年2月，東京バプテスト神学校)

【現在の研究テーマ】

新約聖書のパウロ書簡

井上 勝也

【著 書】

高齢者の心理がわかるQ&A 井上勝也(監修)中央法規出版 2005年4月

高齢者とカウンセリング 岡堂哲雄(編)『現代のエスプリ』別冊『臨床心理学入門事典』至文堂2005年10月

老人の心理と援助 井上勝也(編)メジカルフレンド社 2005年12月

【口頭発表】

ハッピーエイジングについて 第8回日本老年行動科学会シンポジウム指定討論者2005年

【社会活動】

第20回全国健康福祉祭茨城大会常任実行委員

出張講座講師(新潟県立長岡広陵高等学校)

埼玉県社会福祉協議会職員研修会講師

山形県社会福祉協議会職員研修会講師

茨城県社会福祉協議会職員研修会講師

青森県社会福祉協議会職員研修会講師

仙台市弁護士会研修会講師

【その他】

知っておきたい老年心理 『ふれあいケア』全国社会福祉協議会(編)連載中

朝日カルチャーセンター 『老年期の心理』平成17年度オーガナイザー・講師

東京医科歯科大学講師(非常勤)

【現在の研究テーマ】

高齢者の生きがい研究 痴呆性高齢者(認知症)への心理学的アプローチ

井上 久士

【著 書】

『現代歴史学と南京事件』（共著）（2006年3月，柏書房）。担当部分は，第8章「南京大虐殺と中国国民党国際宣伝処」。

【口頭発表】

「平頂山事件と日本外交」（2005年9月，平頂山事件国際学術研究会，於中国撫順市）

【現在の研究テーマ】

1930—40年代の中国政治史・日中関係史

内田 康夫

【学術論文】

内田康夫「鳥類にみる定着と移動」2005. 7, 『学際』No15 p 9-12

【社会活動】

「自然環境と子供たち」'05. 5. 21（西多摩地区保育園連合 於あきる野市ふれあいセンター）

【現在の研究テーマ】

人為的環境変化と動植物の変動

太田 隆士

【著 書】

「楽しいドイツ語トレーニングDeutsches Kurs-und Übungsbuch」（共著）（三修社）

【学術論文】

「『グリム童話』と日本の昔話の比較—『ヘンゼルとグレーテル』・『手なし娘』—」

【現在の研究テーマ】

昔話とユング心理学

大貫 秀明

【著 書】

『教養としての体育原理—現代の体育・スポーツを考えるために—』（共著）平成17年4月10日 大修館書店

分担部分：「運動のもつ可能性—ヒューマン・ムーブメント研究の現在—」 pp. 28-

33

【学術論文】

「オルターナティブな知の獲得—『他者（ひと）の身』になることから—」（単）
女子体育第47巻第10号 pp. 10-13

【口頭発表】

シンポジウム（シンポジストとして）

「舞踊のクリエーションと教育—ロンドンにおける専門教育を事例にして—」

主催：早稲田大学演劇博物館演劇研究センター21世紀COEプログラム

「演劇の総合的研究と演劇学の確立」舞踊研究コース

慶應義塾大学21世紀COE人文科学研究拠点

「心の統合的研究センター」表象B班

協賛：ブリティッシュ カウンシル

於：早稲田大学 平成17年12月20日

【社会活動】

朝日舞台芸術賞（主催：朝日新聞社）推薦委員

神奈川県ダンスフェスティバル審査委員

埼玉県高等学校ダンスコンクール審査委員

坪内逍遙没後70年シンポジウム実行委員

共催：楽劇学会，歌舞伎学会，舞踊学会，逍遙協会，早稲田大学演劇博物館演劇研究センター21世紀COEプログラム

於：早稲田大学

【現在の研究テーマ】

介護のための動きの工夫

動きと空間意識

岡田 安芸子（藤村安芸子）

【現在の研究テーマ】

仏教を中心とした日本倫理思想史

纓坂 英子

【口頭発表】

“Examination of Japanese collectivism; intergenerational comparison” (July, 2005,

The 14th Biennial conference of the Japanese Studies Association of Australia; Japan-Negotiation the 21st Century Conference Programme. At The University of Adelaide, Australia.)

「日本人の韓国イメージ」(2006年2月, 韓国日本学会第72回学術大会, 於慶熙大
学校・韓国ソウル特別市)

【現在の研究テーマ】

日本人の集団主義

国民性研究

日本語学習動機

小俣 謙二

【口頭発表】

「現実の問題解決への環境心理学的アプローチ」(2005年9月, 日本心理学会第69
回大会ワークショップ 話題提供)

【社会活動】

入間市「防犯のまちづくりリーダースクール」第6回 講師

「フィールドワーク・まちに出よう」(2005年11月)

【現在の研究テーマ】

犯罪行動の環境心理学的研究

木塚 隆志

【学術論文】

「神秘主義の可能性—ミュンツァーとデンクの神秘思想をめぐって—」(『駿河台
大学論叢』第30号, 2005年7月)

【現在の研究テーマ】

16世紀ヨーロッパの神秘思想・終末思想

清海 節子

【学術論文】

「個人名の型と機能」『駿河台大学論叢』第30号(2005)95-120頁

【社会活動】

駿河台大学公開講座『楽しく学ぶ英語C:初歩から学ぶ英会話』6/25, 7/2

【現在の研究テーマ】

意味論

國分 俊宏

【翻 訳】

フランソワ・ボン『ローリング・ストーンズ ある伝記』(2006年1月, 現代思潮新社, 共訳)

【そ の 他】

「新しいフランスの作家たち1 アメリー・ノートン」(2005年4月『ふらんす』4月号, 白水社, pp. 92-93)

「新しいフランスの作家たち2 クリスチャン・オステール」(2005年5月『ふらんす』5月号, 白水社, pp. 70-71)

「新しいフランスの作家たち3 ジャン・エシュノーズ」(2005年6月『ふらんす』6月号, 白水社, pp. 62-63)

「新しいフランスの作家たち4 オリヴィエ・ロラン」(2005年7月『ふらんす』7月号, 白水社, pp. 52-53)

「新しいフランスの作家たち5 フィリップ・クローデル」(2005年8月『ふらんす』8月号, 白水社, pp. 52-53)

「新しいフランスの作家たち6 マリー・ンディアイ」(2005年9月『ふらんす』9月号, 白水社, pp. 52-53)

「新しいフランスの作家たち7 トニーノ・ベナキスタ」(2005年10月『ふらんす』10月号, 白水社, pp. 58-59)

「新しいフランスの作家たち8 フランソワ・ボン」(2005年11月『ふらんす』11月号, 白水社, pp. 52-53)

「新しいフランスの作家たち9 ミシェル・ウエルベック」(2005年12月『ふらんす』12月号, 白水社, pp. 52-53)

「新しいフランスの作家たち10 モーリス・G・ダンテック」(2006年1月『ふらんす』1月号, 白水社, pp. 52-53)

「新しいフランスの作家たち11 マリー・ニミエ」(2006年2月『ふらんす』2月号, 白水社, pp. 52-53)

「新しいフランスの作家たち12 クリスティーヌ・アンゴ」(2006年3月『ふらんす』3月号, 白水社, pp. 52-53)

【現在の研究テーマ】

現代フランス文学

狐塚 賢一郎

【学術論文】

「地域高齢者を対象とした介護予防運動処方の開発Ⅰ—対象者の体力測定を踏まえた運動処方指針の検討—」（2006年1月駿河台大学論叢第31号 pp 55-75）

【現在の研究テーマ】

Tグループワークがスポーツ集団の凝集性に与える影響
新介護保険制度下の転倒予防運動

櫻井 千絵

【著 書】

太田隆士・明石正和・櫻井千絵共著『楽しいドイツ語トレーニング』三修社2006年2月

【書 評】

「物語に読むヨーロッパ」『日本児童文学』2005年11—12月号誌面批評
『日本児童文学』2006年1—2月号 p 80

【現在の研究テーマ】

20世紀ドイツ・オーストリア演劇
ヨーロッパ児童文学

佐古 年穂

【社会活動】

「仏教とはどんなものだろう」（2005年7月，豊岡ブチ大学，学生参加による〈入間〉活性化プロジェクト，於駿大ふれあいハウス）

「釈尊の弟子たちはどのように輪廻を理論化したか—一部派仏教の輪廻観—」（2005年11月，日蓮宗ビハーラネットワーク「第2回心といのちの講座」，於日蓮宗宗務院）
東京大学仏教青年会評議員（文京区本郷3-33-5）

【現在の研究テーマ】

アビダルマ仏教，業の思想

佐野 富士子

【著 書】

『文献にみる第二言語習得研究』開拓社 2005年7月

【学術論文】

Japanese university students' receptive pragmatic competence. *JACET Bulletin*, No. 40, pp. 117-133.

【社会活動】

大学英語教育学会 (JACET) 副代表幹事・関東地区運営委員・研究発表委員会委員長

JACET SLA研究会代表

中学校英語教科書著者

【現在の研究テーマ】

第二言語習得論と英語教育学の融合

ライティング研究と指導

竹中 弥生

【口頭発表】

「ハーリー・グランヴィル＝バーカーの作品に見られる英国二大政党移行時代の政治と現代日本の政界」2005年9月10日 (土) 「日本人のアイデンティティー形成と教育」研究会, 於東京学芸大学国際教育センター

【社会活動】

「ヨーロッパの演劇に現れた友情の姿」2005年5月14日 (土) 春の公開講座市民の大学, 於駿河台大学

【現在の研究テーマ】

19世紀末から20世紀前半の英国演劇とそこに描かれる英国社会

長尾 建

【口頭発表】

「高村光太郎『道程』前期論」(2005年10月, 第50回高村光太郎研究会, 於江東区区民センター)

【社会活動】

「飯能にゆかりの詩人達」(2005年7月, 公開講座『彩・ふるさと喜楽学』, 於駿

河台大学)

【現在の研究テーマ】

大正期から終戦までの日本近代文学

信岡 奈生

【現在の研究テーマ】

中央アンデスの宗教, ボリビアの民衆文化とアイデンティティー

林 好雄

【翻訳】

ジャック・デリダ『声と現象』(2005年6月, ちくま学芸文庫, 筑摩書房)

【現在の研究テーマ】

19世紀フランス文学

原 聰

【著書】

『記憶の心理学と現代社会』太田信夫編著 第5部 裁判と記憶 第1章 目撃証言 有斐閣 2006年3月

『目撃供述・識別手続に関するガイドライン』法と心理学会・目撃ガイドライン作成委員会編 現代人文社 2005年10月

【学術論文】

法的実践における心理学的供述分析—高木・大橋論文へのコメント『心理学評論』Vol. 48, No. 3 特集 司法における心理学的問題 心理学評論刊行会 2005年12月

【社会活動】

人間ブチ大学「ウソの心理学」2005年11月

【現在の研究テーマ】

目撃と自白の心理学的分析

土方 幹夫

【口頭発表】

研究協議会 マリンウイーク2005支援事業 2005年7月17日

「マリンスポーツ・レジャーの認知の促進と自然環境との共生理解」新潟県村松町
【社会活動】

「地域活性化事業としての野外教育プログラムの可能性」南魚沼市サイクルスポーツセンター 2005年6月26日

「障害者カヌーレクリエーション教室」駿河台大学 2005年8月23日

「マリンスポーツ普及事業 カヌーヨット遊び」2005年7月24日

廣野 行雄

【学術論文】

「50年代中国の恋愛小説考」(2005年7月『駿河台大学論叢』第30号, pp. 71-93)

【社会活動】

「岐路に立つての人間の行動 — 延安整風運動における蕭軍の生き方」駿河台大学公開講座市民の大学 2005年5月14日

【現在の研究テーマ】

現代中国文学に見る組織悪と人間

フィンチ ロジャー (Roger Finch)

【学術論文】

“The Suffix /-ko/ in Japanese,” PIAC (Permanent International Altaic Conference), Moscow: July, 2005. (To be published this year, 2006)

【現在の研究テーマ】

1. “The Dual Number in Turco-Chuvash,” *Altaica Budapestinensia MMII*, Budapest: Hungarian Academy of Sciences, 2003.
2. “Drums, Shamanic: Form and Structure. Introduction: Historic Origin of the Frame Drum,” *Shamanism: An Encyclopedia of World Beliefs, Practices, and Culture*. Santa Barbara, Calif.: ABC Clio, 2004.
3. “Drumming in Shamanistic Rituals,” *Shamanism: An Encyclopedia of Worlds Beliefs, Practices, and Culture*. Santa Barbara, Calif.: ABC Clio, 2004.
4. “Prosodic Structure of the Quechua Drama *Ollantay*,” *The Tsuda Review*. Tokyo: Tsuda College: 2005.

フォールズ マーティン (Martin A. Foulds)

【現在の研究テーマ】

- 田辺藩（舞鶴）お抱え絵師鈴木南嶺（1775—1844）の活躍，特に画風と文化文政時代の日本絵画史における貢献。又，南嶺の署名，印章の分析。
- 新潟県越後地方で狩野梅笑（1728—1807）の活躍。その意義について。
- 東東洋の落款～東洋の署名，印章の分析。

福田 二郎

【現在の研究テーマ】

20世紀の英国小説・詩，ヒューマニズム研究

星川 照

【社会活動】

学生参加による人間活性化プロジェクト（入間市民のためのパソコン中級講座講師）

【現在の研究テーマ】

微小生物の運動，物理基礎論

本多 啓

【学術論文】

「生態心理学から見た言語の意味……とくに自己知覚に着目して……」（2005年4月，『生態心理学研究』2，1-12（日本生態心理学会））

「自己の直接知覚としてのSubjective Construal」（2005年9月，『日本認知言語学会論文集』第5巻，515-530）

【研究ノート】

「認知言語学から見たジェンダー(2)」（2005年7月，『駿河台大学論叢』30，121-135）

「ニナリマス敬語について」（2006年1月，『駿河台大学論叢』31，77-91）

【翻訳】

『心とことばの起源を探る：文化と認知』（2006年2月，勁草書房，大堀壽夫，中澤恒子，西村義樹，本多啓共訳。Michael Tomasello: *The Cultural Origins of Human Cognition*）

【社会活動】

「認知科学とどう付き合うか……アフォーダンス理論から可能表現を考える」
(2005年5月7日, 公開ワークショップ「認知言語学の学び方2」, 東京大学言語
学科, 言語情報学科, 共催)

「認知言語学から見た現代日英語文法」(2005年11月24日, 熊本県立大学特別講師)

「日常の言葉を見直す」(2005年12月10日, 駿河台大学公開講座「彩・ふるさと喜
楽学」)

「日常の言葉を見直す」(2006年1月17日, 毛呂山町教育委員会講師)

日本生態心理学会編集委員

【その他】

「拡張するアフォーダンス」(2005年7月, 『UP』8月号, 東京大学出版会, 佐々
木正人・三嶋博之両氏との座談会の記録)

「〈日英対照〉物の数の捉え方に原則はあるか」(2005年9月, 『英語教育』54-7,
10-12 (大修館書店))

【現在の研究テーマ】

生態心理学から見た文法現象

本間 邦雄

【学術論文】

「情動, フォネー——エマの恐怖と「ねずみ男」」(2005年7月, 『駿河台大学論叢』
第30号, pp. 27-48)

【現在の研究テーマ】

現代文明とフランス思想

前山 加奈子

【学術論文】

「関露と『女聲』」(2005年7月, 渡邊澄子 [編集] 『[国文学解釈と鑑賞] 別冊今
という時代の田村俊子—俊子新論』 pp. 50-58)

「近10年間の中国女性史研究—主として日本における動向と展望」(2005年12月,
『近きに在りて』第48号・中国女性史特集, pp. 38-45)

【口頭発表】

「中国YWCA (60歳以上) 会員に対するアンケート調査の集計」(2006年1月29日,

中国女性史研究会2006年度総会，於上智大学比較文化研究所)

「革命與社会性別」(2006年2月15日，中日女性学術研究交流会，於中華全国婦女聯合会婦女研究所，中国北京)

【その他】

「近代中国女性史への案内書」(2005年8月，『歴史と地理』No.586，世界史の研究204，pp. 34-37)

「革命とジェンダー—中国女性史の再構築に向けて」(2005年10月，『ジェンダー史学』創刊号，pp. 32-37)

「巻頭の辞：『中国女性史特集』によせて」(2005年12月，『近きに在りて』第48号・中国女性史特集，pp. 1-2)

【現在の研究テーマ】

女性雑誌にみる近現代中国の社会・文化

増田 久美子

【翻訳】

スラヴォイ・ジジエク『厄介なる主体——政治的存在論の空虚な中心』第1巻(共訳，青土社，2005年9月)。序章，第1章，第3章担当。

ベネディクト・アンダーソン『比較の亡霊——ナショナリズム・東南アジア・世界』(共訳，作品社，2005年11月)。第1章から第3章まで担当。

【現在の研究テーマ】

19世紀アメリカ合衆国におけるドメスティック・イデオロギーの問題

増田 珠子

【著書】

神宮輝夫編『世界児童文学百科現代編』(共著)(2005年10月，原書房)。担当部分は中項目2件(「ウチダ，ヨシコ」「チェインバーズ，エイダン」)および小項目8件(「ギャヴィン，ジャミラ」「ガレス，オーウェン」「コーベット，ウィリアム・J」「トムリンソン，テレサ」「プレズリン，テレサ」「モリ，キョウコ」「モール，ジョン」「ワッデル，マーティン」)。

現代演劇研究会編『現代演劇』第16号(共著)(2005年10月，英潮社)。担当部分はデイヴィッド・ヘア作品解説「ティースン・スマイルズ」。

【翻 訳】

セアラ・ドライ『科学者キュリー』(2005年5月, 青土社)

【口頭発表】

「異世界の作り方——「ハリー・ポッター」シリーズにおける「他者」としての異世界と『ライラの冒険』における「分身」としての異世界——」(2005年8月, テキスト研究会第5回大会, 於青山学院大学, シンポジウム報告)。シンポジウムのテーマは「ハリー・ポッターほか——ファンタジー文学の魅力」。

【社会活動】

「楽しく学ぶ英語B——『ハムレット』を読む・見る・探す」(2005年6月, 駿河台大学春の公開講座, 於駿河台大学)

【現在の研究テーマ】

現代イギリス演劇, 児童文学, 児童演劇

松井 優子

【著 書】

『ケルト 口承文化の水脈』(共著)(2006年2月, 中央大学出版部。中央大学人文科学研究所編。担当部分は第5章「初期スコットランド小説と複数の声」。

【口頭発表】

「二人のハリー——『賢者』と『魔術師』の物語」(2005年8月, テキスト研究会第5回研究大会, 於青山学院大学, 公開シンポジウム報告)。シンポジウムのテーマは「ハリー・ポッターほか——ファンタジー文学の魅力」。

【その他】

『研究社20世紀英語文学辞典』(2005年11月, 研究社)項目執筆。上田和夫ほか編。担当は「アラスター・グレイ」ほか54項目。

『図説スコットランド』(2005年12月, 河出書房新社)項目執筆。佐藤猛郎ほか編。担当は「20世紀スコットランドの文学概観」。

【現在の研究テーマ】

ロマン主義時代の女性作家たち; 共同研究「異文化受容に関する研究」。

マッカーシー ポール (Paul McCarthy)

【学術論文】

“The Life and Death of Christ in Film” in the *Japan Mission Journal* special issue,

March, 2006

【翻 訳】

現在中島あつしの「中国物」を翻訳中（文化庁プロジェクト）2005年9月～現在まで、12月完了予定。

【口頭発表】

①2005年10月京都府立大学で②2006年2月昭和女子大学で“小説と映画「雨月ものがたり」について”というテーマで①は日本語で②は英語で発表。

【そ の 他】

「中国旅行記」（「花園神社社報」2005年10月，和文。山東省観光局機関誌同年12月，中国語。）

「三島さんのこと」（『新潮』2005年12月）

【現在の研究テーマ】

- ① 中島文学の英訳
- ② 中国語とタイ語の取得

山本 耕一

【現在の研究テーマ】

環境倫理学

油井 恵

【そ の 他】

「異文化受容に関する研究」〈教養文化研究所共同研究〉

【現在の研究テーマ】

カテゴリー認知と英語と日本語におけるその言語表現
日本語（文化）における英語（文化）の受容と影響

吉住 知文

【著 書】

『貧困と開発—豊かさへのエンパワーメント—』（共著）（2005年7月，開発教育協会）担当部分は「力の剥奪—レーダーチャート」「同 解説」「開発とはなにか（解説を除く）」

【口頭発表】

「地理歴史科教育法の展開—生徒参加型学習による考える社会科をめざして—」
(単独) (地理教育研究会 (学会) 第44回大会 於京都聖護院御殿荘)

【社会活動】

埼玉県立大宮中央高等学校懇話会 (学校評価委員会) 委員

【現在の研究テーマ】

インド森林政策史
地理教育, 開発教育

吉田 邦久

【著 書】

『生物用語集』(駿台文庫), 共著 (他の著者5人), 2005年4月

【社会活動】

学生参加による入間活性化プロジェクトの運営に参加。
豊岡プチ大学で講演, 「男と女～生物学から」(7月22日, 29日)
入間市環境審議会委員, 入間市環境アドバイザー

【その他】

高等学校教科書「理科総合B」・「生物I」・「生物II」(数研出版)

【現在の研究テーマ】

生物教育

吉野 貴順

【社会活動・フィールドワーク】

日本スケート連盟ショートトラック運営委員・ショートトラック強化部員
日本スケート連盟トレーニング・ドクター (日本オリンピック委員会指定強化スタッフ)

日本フロアボール協会事務局長・選手強化委員長

◆2005年5月「2005女子世界フロアボール選手権大会」日本代表チーム, 監督 (A
ディビジョン8位)

◆2005年11月「2005アジア・ショートトラック・スピードスケート選手権大会」(台
湾・台北), 日本選手団, チームリーダー

同上参加報告書執筆: 日本スケート連盟会報, Skating110号, pp 68-
70, 2006年1月

- ◆2005年12月「2005アジア太平洋フロアボール選手権大会」男子および女子日本代表チーム，監督（男子：優勝，女子：準優勝）
 - ◆2006年1月「2006世界ジュニア・ショートトラック・スピードスケート選手権大会」日本選手団，チームリーダー
同上参加報告書執筆：日本スケート連盟会報，Skating110号，pp 56-59，2006年1月
 - ◆2006年2月「第20回オリンピック冬期競技大会（2006／トリノ）日本代表選手団役員（ショートトラックスピードスケート競技）」
- 【現在の研究テーマ】
- ◆ショートトラック・スピードスケート競技選手の国際的競技力向上に関する実践的研究（特にジュニア期に必要な教育・指導プログラムについて）
 - ◆ショートトラック・スピードスケート競技選手の体力と競技力との関係
 - ◆フロアボール競技選手の国際的競技力向上に関する実践的研究

吉野 瑞恵

【学術論文】

「日記と日記文学の間 —『蜻蛉日記』の誕生をめぐって—」（2005年5月，『国語と国文学』第82巻第5号，pp 13-25）

【研究ノート】

「御伽草子『ものくさ太郎』—ものくさ太郎はなぜヒーローになれたのか—」（2005年3月，『埼玉大学教養学部・埼玉大学大学院文化科学研究科 埼玉県男女共同参画推進センターWith Youさいたま共催 ジェンダーで読む世界の名作童話・児童文学 報告書』pp 4-8）

【口頭発表】

「藤壺と光源氏の恋の解釈をめぐって」（2005年8月6日，古代文学研究会，於東京大学）

【社会活動】

「東国へのまなざし」（2005年5月28日，駿河台大学公開講座・市民の大学2「東西文化と日本」）

『『今昔物語集』に描かれた事件—平安時代の女性をめぐる犯罪—」（2006年3月8日，飯能市加治東公民館女性セミナー）

【その他】

「階層化社会の中の文学」(2005年5月、『日本文学』第54巻第5号, pp 54-55)

教養文化研究所共同研究「異文化受容に関する研究」

【現在の研究テーマ】

女性の自伝の系譜

韓国における日本文学の受容

散文と韻文の融合形態が持つ意味 (平安時代の和歌の贈答歌の機能)

渡辺 裕子

【現在の研究テーマ】

社会福祉の領域におけるタイムスタディ調査の応用